

## 予防接種は親から子への最高のプレゼント！

小児科 濱田 淳平

「感染症で入院する子どもたちが減ってきている。」これは多くの小児科医が、最近よく口にする話題です。もちろん少子化の影響はあるかもしれませんが、最大の理由は予防接種の普及と考えています。私が小児科医になった15年程前に比べても、細菌性髄膜炎・肺炎・難治性中耳炎、嘔吐下痢に伴う重症の脱水で入院する子どもは明らかに減少しています。これは、インフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン・肺炎球菌ワクチンの定期接種化(原則無料化)、ロタウイルスワクチンの開始によるところが大きいと思います。また、水痘(水ぼうそう)ワクチンも最近定期接種が開始され、既に外来を受診する水痘の子どもが減ってきていると実感しています。水痘と同じウイルスが原因となる帯状疱疹を減らす上でも良い状況といえます。

予防接種の数が増えたことにより、1回に2種類はもちろん、多種類の同時接種も珍しくない光景となりました。「まだ生まれて2ヵ月くらいの子どもの何箇所も

注射するなんてかわいそう」と思われる方も少なくないと思います。しかし、予防接種をしないことで病気にかかったり、重症化してしんどい思いをすることを考えると、まだ物心がつかず、痛みへのスト



レスが比較的少ない乳児期早期に予防接種を進めておくことは大事なことです。また生後6ヵ月頃には、母親からもらった免疫力が低下しますので、そういう意味でも理にかなっていると思います。

日本は医療全体では先進国ですが、予防接種においてはまだまだ後進国です。本年10月より、ようやくB型肝炎ワクチンの定期接種が開始されます(現在は任意接種で原則自己負担になります)。「なぜ子どもにB型肝炎ワクチン?」と思われるかもしれません。実は、乳幼児期にB型肝炎ウイルスに感染すると、成人に比べて生涯体内にウイルスが残る状態(持続感染)になりやすく、成人になって、慢性肝炎や肝硬変・肝がんに移行しやすいと言われていています。一般に集団生活の場でB型肝炎ウイルスの感染が起こる事は稀とされていますが、保育所内での感染事例の報告もあり、ワクチンによる感染予防が不可欠といえます。

「わが子が元気に成長してほしい」親なら誰もが願うことだと思います。予防接種こそ「親からわが子への最高のプレゼント!」です。



### 西条中央病院基本理念

西条中央病院は地域社会への奉仕の精神に基づき、生命の尊厳と人間愛を尊重し、親しまれ信頼される医療を提供します。

### 行動指針

1. 私達は患者さん中心の医療を提供いたします。
2. 私達は常に医療水準の向上に努めます。
3. 私達は思いやりと同心協力の心を大切にします。
4. 私達は患者さんの持つ権利を尊重します。
5. 私達は開かれた医療を進めます。

## 新任医師紹介

①氏名(ふりがな) ②診療科  
③卒業年 ④コメント



- ①中川 裕彦(なかがわ ひろひこ)
- ②内科
- ③平成22年
- ④4月より赴任して参りました5年目医師の中川裕彦です。循環器内科領域および内科一般につきまして研鑽を積んで参りたいと存じます。まだまだ御迷惑をおかけすることもあり恐縮と存じますが、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。



- ①中矢 隆大(なかや たかひろ)
- ②小児科
- ③平成23年
- ④始めまして、小児科の中矢と申します。2月より西条中央病院に赴任いたしました。出身は松山ですが、以前は新居浜市の住友別子病院で働いていたこともあり、東予は非常に馴染みが深い地域です。子どもたちのためによりよい医療が提供できればと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## 基幹型臨床研修医紹介

H28年4月1日から2年間、当院に着任される基幹型初期臨床研修医2名をご紹介します。



- ①細川 貴晶(ほそかわ たかあき)
- ②基幹型研修医
- ③平成28年
- ④この度、西条中央病院で研修させて頂くことになりました、細川貴晶です。岡山県出身で愛媛大学を卒業しました。まだ分からないこともたくさんありますが、広い視野を持って研修に取り組み、一つずつできることを増やしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



- ①吉田 圭佑(よしだ けいすけ)
- ②基幹型研修医
- ③平成27年
- ④この度、西条中央病院で基幹型臨床研修医として働くことになりました、愛媛大学出身の吉田圭佑です。興味があるのは内科、耳鼻科です。研修中に特にしたいことは、採血を上手くなること、問診の際、的確な鑑別診断を挙げる能力を身に付けることです。初心を忘れず、地道に前向きに様々なことを経験、勉強し、立派な医師へと成長したいです。今後ともよろしくお願い致します。

# 部署紹介 入退院支援センター

平成27年12月に新病院棟開設と同時に、入退院支援センターが設置されました。

入退院支援センターでは、患者さんが安心して診察、検査、入院する事が出来るように多職種で患者さんに入院・退院支援を行っています。



## 入退院支援センター窓口

外来検査の説明、入院に関する案内や書類の説明、入院前に必要な情報の収集を行っています。患者さんが診察室では話すことが出来なかったり、聞くことが出来なかったことも相談を受けています。また早期に住み慣れた生活に戻ることが出来るようにMSWと協働し療養に関する相談を行っています。

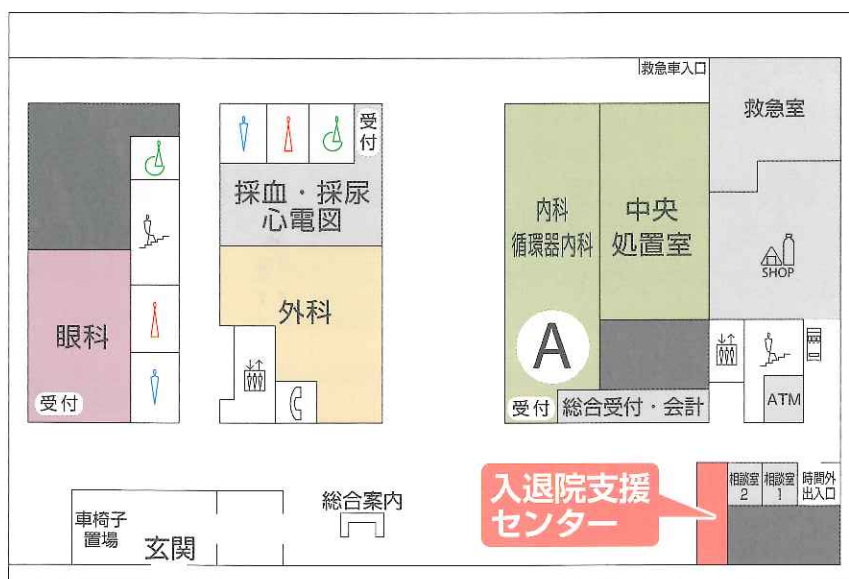
## 書類窓口

診断書や意見書等の各種書類の受付と管理を担当しています。また、診療予約の変更等の対応を行います。

## 紹介窓口

近隣病院から紹介状を持参して受診に来られた患者さんの受付を行い、看護師がトリアージをして診療窓口まで案内をしています。各診療科に情報提供を行い、待ち時間の配慮を行っています。

入退院支援センターでは、患者さんと家族の方々が安心して医療・療養を受けて頂けるように、多職種が協力して支援を行います。療養に関して心配なことは何でも相談に来てください。



# 『感染管理認定看護師』資格取得!

近藤 啓司

私は平成27年7月に、日本看護協会が認定する『感染管理認定看護師』の資格を取得しました。資格の取得後は、院内感染対策チームの一員として、患者さんや面会者、病院で働くすべての人々を医療関連感染から守るため活動しています。そして、平成28年度4月からは、感染対策の専従業務を行い、その役割の中で、西条中央病院では何を実践していくべきかを考え、活動しています。

感染管理認定看護師とは、「専門的な知識と技術を用いて、病院を利用される患者さん・ご家族および職員などを対象とし、感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正確かつ効率的な感染管理を計画、実践、評価し、提供するサービスの質の向上を図る」といった役割を担っています。

病院は多くの方が訪れ、手や物を介して広がる感染症や、咳やくしゃみにより、周囲の人に広がる感染症が蔓延している環境であるといえます。メディアでも報じられている、ノロウイルス感染症やインフルエンザも院内で流行する感染症であります。そういった感

染症は利用者だけでなく、医療従事者にも不利益を与えてしまい、これらの感染症の蔓延を予



防していくには、手指衛生の遵守、咳エチケットの推進が重要となります。

感染対策は医療従事者だけでなく、多くの人に理解される必要があり、実施されてこそ大きな効果を得られます。結果、大きな流行を地域社会で抑えることができます。

看護師が患者さんに寄り添うように、感染管理者としての私の看護は、感染対策を病院職員だけでなく、病院を利用する方々、そして地域の皆さまに身近に感じられるようにしていくことであると信じ、地域の皆さまが安心して、西条中央病院を訪れることができるように努力していきます。

## 平成28年度 新入職員紹介



医師 … 1名 基幹型臨床研修医 … 2名 看護師 … 12名 診療放射線技師 … 2名  
臨床検査技師 … 1名 薬剤師 … 2名 理学療法士 … 1名 社会福祉士 … 1名  
事務員 … 1名 ケアスタッフ … 1名

日本医療機能評価機構認定

## 西条中央病院

〒793-0027 西条市朔日市804番地  
TEL (0897)56-0300  
FAX (0897)56-0301  
<http://www.saijo-c-hospital.jp/>

### 診療科目

内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科  
眼科・耳鼻咽喉科・放射線科  
リハビリテーション科・歯科・皮膚科・脳外科・泌尿器科

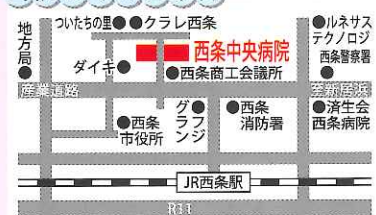
### 関連施設

居宅介護支援事業所  
血液透析センター・健康管理センター  
通所リハビリテーション

### 病床種別

一般240床(うち地域包括ケア35・障害者97)感染症2床

### 当院までのご案内



■JR西条駅より バス15分 タクシー10分  
■いよ西条インターチェンジより 車15分